ここで紹介するニュースは、ほとんどの場合、日頃からOS・アプリケーション・アンチウイルスのデータベース等を常に最新の状態に保つこと、併せて、UTM導入等によるネットワーク全体の防御を行うことで対策できます。

●1万7000台を超えるMacがマルウェア「iWorm」に感染

http://internet.watch.impress.co.jp/docs/news/20141004_669929.html
http://news.drweb.com/show/?i=5976&lng=en&c=14

このニュースをザックリ言うと・・・

- 9月29日（現地時間）、ロシアのセキュリティ企業Doctor Web社は、17,000台を超えるMac PCが「iWorm」と呼ばれるワームに感染し、ボットネットを構成していることを発表しました。

- セキュリティ技術者のGraham Cluley氏によると、Macにおけるウイルス感染の問題としては、2012年にもFlashbackワームに60万台以上のMac PCが感染した例があるとのことです。

- 同氏は（Windows PCと同様に）OSに最新のセキュリティアップデートを適用すること、Adobe Reader・Flash・Javaについても最新のバージョンに更新することを強く勧めています。

AUS便りからの所感等

- Windowsに比べMacはウイルスに感染しにくいというのはもはや過去の話であり、特にWindows PCと同じIntel CPUを採用したMacとMac OS Xがリリースされ、これまでのMac以上に人気を博したことから、Mac向けマルウェアの開発に拍車がかかったものとみられます。

- Macにもセキュリティベンダー各社がアンチウイルスソフトを提供していますので忘れずにそれを導入すること、加えてクライアントPCのOSの種類にかかわらず、PCを防御するUTMを設置することが肝心です。

INTERNET Watch

最新ニュース

「Webmin」利用者は確認を、bash脆弱性を狙ったスキャンが増加 [2014/10/10]

宛名入力はカメラ撮影で、「スマホで年賀状2015」サービス開始 [2014/10/10]

アドビが作ったペンと定規「Adobe Ink & Slide」の体験会、代官山で開催 [2014/10/10]

Oracleの定例セキュリティアップデート、米国時間10月14日公開予定 [2014/10/10]

10月10日の「萌えの日」にちなみ、「miku.moe」ドメインの落札額が明らかに [2014/10/10]

ニュース

1万7000台を超えるMacがマルウェア「iWorm」に感染、感染源は不明～掲示板「reddit」からの命令を待っている

(2014/10/4 22:24)

1万7000台を超えるMacがマルウェアに感染し、ボットネットを形成していることが、セキュリティソフト「Dr.WEB」開発元として知られるロシアのセキュリティ企業Doctor Webの調査によって判明した。

Macユーザーにはウイルスやマルウェアに感染しにくいという“神話”が根強いが、実際は容易に感染するため、早急な対策が必要だ。

現時点でiWormがどのような行動を実際に起こしたのかは不明だ。ただ、感染したMacに対するさまざまな情報収集能力と、命令を実行する能力を持つことは確認されている。英語圏で人気の掲示板「reddit」を介して命令を受け取ることも判明している。

感染数が最も多いのは米国で4610件（26.1%）。以下、カナダが1235件（7.0%）、英国が1227件（6.9%）などで、上11カ国で計1万1839件に上り、67%を占めている。日本での感染件数は明らかにされていないが、残りの33%中に含まれている可能性がある。また、これは9月26日時点の調査であり、感染がさらに広がっている可能性もある。

●IPAからの10月度の呼びかけ「クラウドサービスからの情報漏えいに注意！」

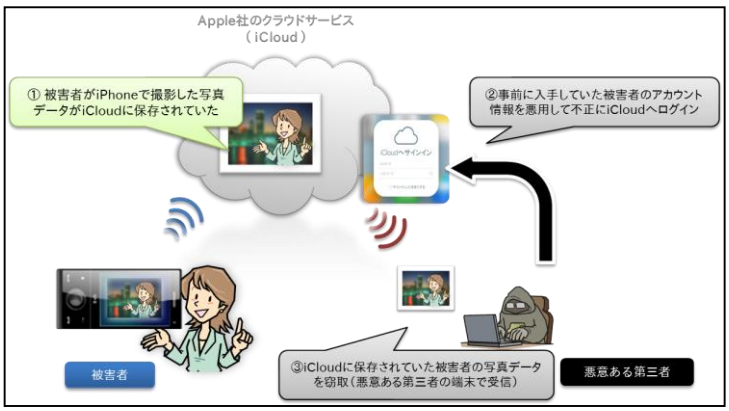
http://www.ipa.go.jp/security/txt/2014/10outline.html

このニュースをザックリ言うと・・・

- 10月1日、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が毎月行っている「今月の呼びかけ」の10月度が発表されました。
- 呼びかけでは、9月に発生したApple社のクラウドストレージサービス「iCloud」を利用する有名人のアカウントが乗っ取られ、大量の画像が流出した事件を引き合いに、こういったクラウドサービスの特性を理解し、保存したデータが迂闊に第三者に公開されたり、アカウントへの不正ログインが行われたりしないための留意事項をまとめています。

AUS便りからの所感等

- オンラインサービスにおける情報漏洩の例は枚挙にいとまがありませんが、例えば2013年7月には、Googleのオンラインディスカッションサービス「Googleグループ」内において、日本の省庁がやりとりしていた機密情報が設定ミスにより第三者から閲覧可能になっていたという事件が起こっています。
- 「アカウントの乗っ取り」や「情報の公開範囲」といった注意点は、オンラインサービス全般において重要なことであり、それを忠実に守り、適切な設定を行い、また随時その使い方や設定が適切か確認することがクラウドサービスを安全に利用するためにも重要なポイントとなります。



●Microsoft、9件のセキュリティ情報公開を予告、OracleもJava等のアップデートを予定

http://www.itmedia.co.jp/news/articles/1410/10/news042.html
https://technet.microsoft.com/ja-JP/library/security/ms14-oct

このニュースをザックリ言うと・・・

- 10月10日、米Microsoftは、翌週10月15日（日本時間）に公開予定の月例のセキュリティ情報に関する予告を行いました。
- 公開予定のセキュリティ情報は、Windows・Internet Explorer（IE）およびOffice等に関する計9件で、特に任意のコードの実行等によりコンピューターを乗っ取られる可能性のある「緊急」レベルの項目がWindows・IEおよび.NET Frameworkについて3件予告されています。
- 同日早朝にはセキュリティ情報の詳細が発表されるとともに、パッチがリリースされ、Windows Updateおよび自動更新によってインストール可能になる予定です。
- 10月15日には、米OracleからもJavaをはじめとする各製品のセキュリティパッチのリリースが予定されています。

AUS便りからの所感等

- Microsoftがセキュリティ情報を公開する第2火曜日（米国時間）にあわせて他社も同様にパッチをリリースする傾向が進んでおり、今回はまだ予告等はありませんが、Adobe社も同時期にFlash Playerのアップデートをリリースする可能性が高いとみられます。
- ともあれ、使用している各種ソフトウェアに対するセキュリティアップデートのリリースについて、公式サイトやニュースサイト等へ常にアンテナを張り、その適用を確実に行っていくことが肝心です。
- もちろん、OSのセキュリティ機能、アンチウイルスおよびUTMを常日頃から活用し、パッチを適用するまでの間のタイムラグに攻撃を受ける可能性を少しでも抑制することもまた重要です。


ITmedia ニュース > セキュリティ > Microsoft、9件のセキュリティ情報を10月15日に公開...

2014年10月10日 07時20分 更新

Microsoft、9件のセキュリティ情報を10月15日に公開

セキュリティ情報9件のうち3件が「緊急」レベル。WindowsやInternet Explorer(IE)の深刻な脆弱性を修正する。

[鈴木聖子, ITmedia]

印刷／PDF　ツイート 24　いいね！ 30　チェック　Pocket 6　通知

PR ITmedia"出張"セッション in「Trend Micro DIRECTION」

PR 小室淑恵氏に聞く、生産性を上げ、結果を出す仕事術

米Microsoftは10月9日、9件の月例セキュリティ情報を米国時間の14日（日本時間15日）に公開すると予告した。WindowsやInternet Explorer(IE)などを対象に、深刻な脆弱性を修正する更新プログラムを配布する。